

# 日曜市の歩き方

土佐の日曜市とは、高知城下を東西に走る「追手筋」で毎週日曜日に開かれている街路市のことです。

この街路市は全国的にも珍しい、道路を占用して開催される市場で、その歴史は古く、江戸時代（元禄三年）から約300年以上続いている歴史ある青空市です。

普段は片側2車線の道路が、日曜日にはその片側が封鎖され、街路市に変わり、高知城を望む大通りに300店あまりのお店が、約1.3kmに渡って並びます。これは街路市としては日本一の長さです。

日曜市では、食品から日用雑貨まで多種多様な高知の特産品や名産品、高知ならではの季節の旬の物が販売されています。

特産のナス、シシトウ、生姜<sup>しょうが</sup>、フルーツトマト、四方竹<sup>よしか</sup>などの野菜や、文旦<sup>にいたかなし</sup>、新高梨、小夏などの果物、しらす、ちりめんじゃこ、干物などの海産物、そのほか地元の食材を使った田舎寿司、漬物<sup>こんやく</sup>や蒟蒻<sup>こんにゃく</sup>などの加工食品、朝食や食べ歩きにおすすめのパンや手作りお菓子、芋天<sup>まんじゅう</sup>、饅頭、餅、串焼き、ジュースなどの軽食類、さらには草花、植木<sup>こっとうひん</sup>、骨董品、土佐打刃物、ペット、おもちゃ、衣類など、実に様々な物が販売されています。

日曜市は朝市ではなく、日の出から日没まで開かれる終日市です。素朴で、土佐弁が飛び交い、人情味あふれる市場は活気に満ちており、市民の生活市としてはもちろん、多くの観光客が訪れる南国土佐を代表する観光名所としても賑わっています。

どことなくアジアンテイストな雰囲気も感じられるこの日曜市を、ぜひ散策してみませんか。



<sup>1</sup>全国的にも珍しい秋に生えてくるタケノコで、切り口が四角形なので「四方竹」と呼ばれており、高知県内の一部の山間部で栽培・収穫されています。

## 【日曜市を楽しもう】

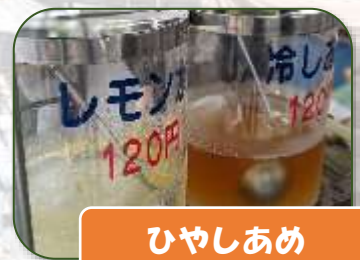
### 食べ歩きおススメ BEST5



芋天



はしまき



ひやしあめ



アイスクリン



土佐和牛の串焼き

### 日曜市の歩き方 ～ワンポイントアドバイス～

#### ❖ お買い物は復路で

日曜市は1.3 kmにわたる道の両側にお店が並んでいますので、何か買いたい物があれば往路ではなくて復路で買い物するとよいでしょう。買った商品を手に持ったまま長時間歩くのは疲れますし、物によっては鮮度が落ちてしまいます。

#### ❖ 値引き交渉もアリ

同じ商品であってもお店によって価格が違っていたりします。いくつかのお店で比較してみたり、店主に値引き交渉をしてみるのも楽しいと思います。

#### ❖ 品揃え豊富なのは朝

日曜市は朝市ではない終日市ですが、朝は早く、人気商品などは午前中に売り切れてしまう場合があります。したがって、午後から日曜市に来られた方の中には、「品揃えが少ない?」と感じてしまう方もいらっしゃるのではないのでしょうか。日曜市が最も賑わう時間は8時～10時です。この時間帯が一番品揃え豊富です。日曜市へお越しの際は、ぜひ早起きをしてください。

#### ❖ 宅配便 OK

「たくさん買い過ぎて荷物がいっぱい…」「お土産を送りたい…」そんなときでも大丈夫です。日曜市の中には宅配便の出張所があります。こちらから荷物の発送が可能です。心置きなくショッピングをお楽しみください。

#### ❖ 雨天決行

日曜市は雨が降っても開催されます。台風など余程の悪天候でない限り、日曜市は雨天の場合でも開催されます。ただし、出店するかどうかは各出店者によりますので、天気によってはお休みするお店もあります。

### 詳細情報

- 開催日……………毎週日曜日（1月1日・2日と、8月10日から8月12日まではお休みです）
- 開催時間……………午前6時頃から午後3時頃
- 場所……………高知市追手筋
- お問い合わせ……………高知市産業政策課 街路市係
- 電話……………088-823-9456
- 詳細……………[産業政策課街路市紹介ページ](#)